

—いのち、くらし、平和が大事！—

日本共産党京都市議会議員

山本 陽子 活動ニュース

VOL.38 2018年11月11日号

連絡先 日本共産党山科区生活相談所 山科区西野大手先町8-8 ☎595-8342



11月18日
もみじまつり
(東野公園)
でお会い
しましょう

山科区生活相談所
山科区西野大手先町8-8
☎595-8342

京都市決算議会を終えて ～一般会計決算の討論にたちました～

国が3兆8000億円もの社会保障費削減をすすめてきたもとで、市民に身近な自治体は、切実な暮らしの実態に心を寄せて、国の悪政の防波堤とならなければなりません。

「国民健康保険料や介護保険料について、市独自の予算繰り入れで市民負担軽減を」と求めましたが、市長は「持続可能な制度とするため」という言葉を何度もくりかえし、繰り入れを否定しました。これは社会保障の予算が削減されても、市民の暮らしが悲鳴を上げていても、名ばかりの制度を維持するため、仕方ないということでしょうか。市民の暮らしが厳しくなれば、京都のまちもたちゆかず。暮らしを守る姿勢が必要です！

日本共産党市会議員団は、補正予算・決算特別委員会に付託された22議案のうち一般会計補正予算を含む14議案は、賛成はじめ認定し、一般会計決算、国民健康保険事業特別家計決算、介護保険事業特別会計決算、後期高齢者医療特別会計決算等は認定しませんでした。

被災者住宅再建支援制度——その後

いまだ、屋根や壁にブルーシートがかかっているお宅が、山科でもあちこちで見られます。台風の被害で、業者の対応が追いついていない状況です。ブルーシートがかかっているお宅に支援制度のお知らせを、と訪問しました。お会いできたお宅では制度の存在は知っておられず、助成を受けられる可能性があること、罹災証明をとる手続き等お話し、喜んでいただきました。『被災者住宅再建支援制度』は、申請期限が基礎支援金（5万円）で1年、加算支援金（45万円）は3年あります。工事終了後でも申請できますのでご相談ください。

地域を回って宣伝しています。被災者住宅再建支援制度のこともお話ししています。



東野公園の大型遊具が復旧します



以前、公園の状況をマタたちとウォッチングして、東野公園内の大型遊具が壊れていることについて、京都市に遊具の早期復旧を求めていましたが、11月末には復旧の目処がついたということです。

1年近く立ち入り禁止になっていたのではないのでしょうか。子どもたちが大型遊具でのびのび遊べる数少ない公園です。管理・修復は迅速に対応していただきたい、と求めました。

やましの里

～ふれあいミニフェスタにおじゃましました～

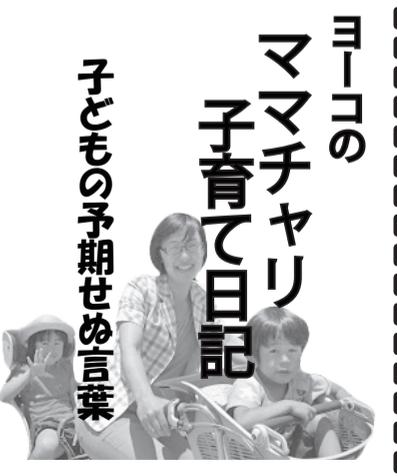
やましの里は、知的ハンディキャップのある方の、学校卒業後の活動場所です。障がいがあっても、自分らしく生きることができる社会にするためには、貴重な居場所です。ボランティアさんがたくさん参加されて、フェスタを支えておられました。作業所のおいしいパウンドケーキや、特製のストラップを購入しました。



「俺には、大切なお母さんがいるから死ねません」って言うねん！」
はっ！ そんなことが言える、
思える子に育ったんか！ 自分が先に死んだら、母ちゃんが悲しむと思ってくれたんやね！ 母として言葉にならないほど嬉しい瞬間でした。

弟君は子どもらしい子どもで、素直に育ってくれています。
でも、子ども同士のいさかいで、自分の思いが理解されていないと感じると、人を傷つけるような汚い言葉を使ったり、いけない行動で大人にまで攻撃をしてきたりします。いくら理不尽と思っても、やってはいけないことはいけない、と話していません。ただ、彼にも必ず理由があるので、頭ごなしにならないように受け止めています。

そんな彼ですが、同様に友達から「死ね！」などのひどい言葉を言われたとき、冷静な対応ができる時もあるようで、先日は、もしそう言われたら、俺はこのように言い返す、と教えてくれました。



ママチャリ 子育て日記

子どもの予期せぬ言葉